

発行
平成21年
10月27日
復刊 第74号



発行者
長野県下伊那農業高校
同窓会
TEL②5550(代)
FAX③0339
編集・発行
同窓会幹事会
印刷 龍共印刷(株)

平成十九年十二月に第一回の実行委員会がスタートし、本年六月十二日に第三

回の記念すべき節目を祝うべく平成十七年一月に創立九十周年記念事業実施計画が決定されました。その後、幾多の会議を経て同窓会・PTA・学校職員で構成する実行委員会が組織されました。

本年度より、下伊那農業高校にお世話になり、そして、創立九十周年記念事業の事務局を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。

同窓会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育に對しましてご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。



創立90周年記念事業の大綱決まる！
事務局長(教頭) 遠山善治(高26回卒)

回実行委員会をおこないました。式典係、記念講演係、祝賀会係、記念品係、親善大会係等々の各係会がもたれ事業の準備が本格化しました。た、た、今は、この実行委員会とは別に、随時各係会がもたれ、綿密な計画をたてているところでです。

本校は、創立以来十年ごとに記念式典をおこなって、それぞれの時代の教育実践を振り返りながら九十年の歴史を刻んできました。この創立九十周年記念事業は創立百周年のステップの事業と位置づけ、募金はおこなわれないことがすでに会議で確認されています。しかし、単に百周年へのつなぎの事業ではなく、同窓生の心に残る意義のある事業にしていきたいと考えています。

記念式典につきましては、式典係が中心となって記念講演係、祝賀会係と連絡を取りながら計画をたてているところでです。記念講演係では全国的に著名な人を講師にお願いしようとする人選をしているところであります。本校の創立時からの教育実践や

先輩たちの実績を振り返り、現存している当時の写真をもとに「下農の歩み」として生徒がスライド発表をおこないます。

これら記念式典の他に記念ゴルフ大会、記念マレットゴルフ大会、校友会との連携による稲丘祭での同窓生の作品展等々一連の記念事業を計画し準備を進めています。

少子化が進み、高校のあり方が問われる時代となりました。高校の統合が叫ばれる中であって、この大きな流れに乗ることなく、この記念事業を通して、地域での本校の存在意義を再確認し、創立百周年に向けてさらに充実発展していきたいと考えています。

今後、各支部より記念式典開催のご案内をさせていただきますので、多くの皆さんにご出席いただきたいと思っております。

同窓会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。今後ともご指導・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



平成21年6月12日 第3回実行委員会

創立90周年記念式典

- ・期 日 平成22年10月23日(土)
- ・日 程 9:00～ 受付
- 10:00～ 記念式典
- 記念講演
- 生徒発表
- 13:30～ 祝賀会

詳細内容は支部・新聞等を通じてお知らせいたします。
時間の変更もありえます。

ご挨拶

同窓会長 吉澤政弘(高5回卒)



同窓会の皆様には、ご健勝にて、御活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年来の未曾有の経済不況下にあつて、今年は、夏の天候不順にみまわれ、大変苦勞をしました。

また夏の終る八月三十日には、国政選挙が行われ、時の政権政党が一敗地に塗られるという「変化」が起こりました。この結果は、すべて今後のことだと思えますが、顧みれば、昭和二十一年に日本国憲法が公布され、わが国は、天皇の主権国家から、国民主権国家として生まれ変わり、焼土と化した国土の復興の中心的役割を今日まで担ってきた保守本流政党が、遂に国民の信を失うに至ったわけで、私は六十有余年の中を生きてきた人間の一人として、国民の意思が機能したことに、感慨深い思いを致しましたので、余談を費や

今年は、新渡戸稲造博士の来校八十周年の記念すべき年であります。この記念すべき年が、日本の政権交代という画期的出来事の起こった年に合致したことは、

下農史的に忘れることのない年となりました。改めて新渡戸稲造博士を招聘された初代校長先生に敬意を表したいと思います。

いよいよ来年は、母校創立九十周年になります。九十周年記念事業は、基本的には、十年後の百周年記念事業を視野に入れておりますので、規模は大きなものにはしないが、百周年記念事業のステップとなるようなイベントにしようと考えております。実行委員会は、事務局長が交代しました。前任の横川教頭先生は人事異動で転出され、後任の事務局長は、母校出身の遠山善治教頭先生が引き継いで下さることになりましたので、交代による心配は全くありません。記念事業の準備の進捗状況は、事務局長から、稲丘時報七十四号で報告があると思えますが、多くの皆さんに参加して頂き所期の目的を達すること

が出来ますように、ご協力をお願い致します。

支会活動活性化を目的に設けました支会表彰に、今年伊賀良支会が選ばれ受賞されました。おめでとうございました。支会活動の活性化は、同窓会員を繋ぐ唯一の絆である稲丘時報の配布と不可分の関係にあります。この件に関しましては、支会役員各位のお骨折りに、心から敬意を表しているところであります。今後とも変わらぬ御協力をお願いする次第であります。このことに関連して、私も支会の会合には、都合をつけて出席をさせて頂いております。そんな中の一つ、龍江支会を紹介いたします。今年五月支会長の熊谷政敏さん(高五回卒)から七月に役員会を開くからとの連絡を受け出席しました。当日は午後から今田平親睦マレット、夕刻より役員会が開かれました。席上木下昭一氏(高三回卒)から、下農応援歌其三「嗚呼蒼旻に妖麗浮かべば…」の歌唱指導を受け、一挙に下農新入生に引き戻されてしまい、嗚呼これぞ同窓会だなあと感慨一塩でありました。後日、龍江支会担当幹事の犬野先生から、記念写真と一緒に、八月二十四日に「稲穂会龍江支会」と「青壮年部」の設立準備会が開催され、稲

ご挨拶

学校長 斎藤秀雄



穂会龍江支会正副会長四名と、青壮年部正副部長二名が選出され、新組織が誕生したとの便りをいただき、同窓会の前途に、明るい光を見る思いで、大変嬉しく思いました。龍江支会の益々の御発展を祈念いたします。

ます。支会活動の参考になればと思ひ、紹介させていただきます。終わりになりましたが、母校の益々の御発展と、同窓会各位の御健勝ご活躍を御祈念申し上げ、御挨拶といたします。

校と後輩のために物心両面にわたりご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

八月末に行われた総選挙の結果、自民党が大敗・民主党政権を受け、鳩山連立政権が誕生しました。教育特に高校教育に関係したマニフェストでは、公立高校授業料無償化、教員免許更新制度見直し、教員免許取得六年へ延長等が掲げられていました。その他ではダム建設など公共事業の見直し、農政では農業所得戸別保証など従来の政治の方向が大きく転換するような予感がします。今後の動き・施策に注目したいと思います。

いよいよ来年平成二十二年十月二十三日に挙行されます、下農創立九十周年記念式典が迫ってまいりました。実行委員会を中心に同窓生の皆様が喜んでいただけるような式典計画を練っている最中です。

同窓会員の皆様には、ご健勝でお過ごしのことと拝察申し上げます。日頃は母

本校施設面では、昭和三十七年に建てられ築四十七年を迎えた体育館兼講堂の改築が、九十周年式典に間に合わずべく来年九月末の完成を目指し、急ピッチで始まりました。またご心配をおかけしている農場借地の返還が肅々とすすめられています。

していただいた扁額「Boys, be ambitious」は今も下農生の宝として心のより所となっております。来校三十年目に当たる昭和三十四年に建立された石碑に込められた想いと共に、生徒にその歴史的意義を伝えて参りました。

昨年九月の米国リーマンショック以来大不況が世界を駆け巡り、未だ底抜け感が実感できない状態が続いています。とりわけ雇用情勢は悪化のままで、本校の就職希望者を直撃しています。進路が決まらずに卒業を迎えてしまう生徒が出てしまうのではないかと大変心配しています。同窓生の皆様、どうぞお力添えをお願い申し上げます。

八月五日に行われた中学生体験入学には五百四十人の参加がありました。本校を志願する生徒が今年も大勢いるものと思われ、うれしい限りです。

引き続き、職員一同農業教育を中核に据え、地域に貢献し、信頼される学校づくりに努める所存です。

最後に、会員各位の益々のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたしま



会 務 報 告

幹事長 大 澤 勲 (高22回卒)



衆議院議員選挙の行われた八月三十日以来日本の政治に大きな変革の時が来たと言われている。これが第一次産業である農業政策にとつてどのように好転がなされるか大いに期待される所である。

同窓会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

役員体勢も三年目を迎え、五月に開催致しました理事・代議員会では昨年度の事業・決算報告、本年度の事業・予算が承認され事業がスタート致しました。出されたご意見の中に新渡戸稲造博士が昭和四年に来飯され七月一日に本校に於いてご講演頂いてから八十年になり、その記念事業について検討するようご提案がなされました。校内幹事会において前向きに検討し今年度中に実施したいと考えておりま

す。又農場借地の問題についても質問があり学校長から現状を報告させて頂きました。果樹園・水田・牧草畑・お茶畑、野菜畑の面積が激減してしまうことは本校にとつて誠に残念なことであり、私の個人的意見ではありますが、もう一考できない物かと毎日悲しい思いを致しております。又体育館の取り壊しの決定もなされいよいよ慣れ親しんだあの体育館も姿を消すこととなりました。

また坂巻副会長さんのお声かけでハンドベルの会も結成され稲丘会館で本格的に活動されております。事業報告には特に例年と変わった事はありませんでしたが、主立った事業の内容をご報告致します。

第一に、理事・代議員会実施日五月三十日(土)場所 稲丘会館で開催し理事三十八名 代議員七十一名の方々にご出席を頂き、提出された全ての議題を御承認頂きました。

第二に、同窓会の大きな

事業の一つであります親善ゴルフ大会が六月二十四日(水)に二百二十四名のご参加を頂き盛会に行われました。チャリティホールをもうけて頂き参加者の皆様から母校に多額のご寄付をいただきました。校友会など生徒の活動に使わせて頂きます。

第三は、稲穂会(女子部会)の活動が益々活発になったことでもあります。本校卒業の女性会員も四千四百六十一名と、全卒業生数一万七千名の四分の一と増え、在校生に至つては過半数を占め、稲穂会の活動が更に活発になり同窓会に新たな明るい旋風を巻き起こして頂けることと期待しております。特に二月には総会を予定致しておりますので、多数のご参加を頂き盛会になりますことを念じておる次第であります。各支会においても組織作りを強化して輪を広げて頂きたくお願い致します。

第四に、支会活動であります。例年総会を開いて頂いておりますが、昨年度は東京・東海・上郷・市役所・合同庁舎・伊賀良・松尾・神稲・座光寺・阿智・山吹・竜丘・龍江の各支会で開催され、会長始め事務局から校内幹事が出向いております。その中で年一回発行される時報が届か

ないと言った声を耳に致しますが、是非各支会で組織の立て直しをして頂き、全会員の皆さまに時報が届きますことを願うものであります。又、九十周年、百周年に向け更なる支会の発展を願っております。



平成21年5月30日 代議員会

第五に創立九十周年記念事業についてですが、実行

委員会を三回開催し骨子が決定しております。最後になりましたが、高校改革プランにより、飯田長姫・工業の合併が決まり、少子化に伴い本校のあり方についても今後検討される事と思ひます。同窓生の皆様におかれましては、母校の発展のために一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。務報告とさせて頂きます。



建て替えられる第一体育館

平成二十年度末 会員の異動

平成二十一年四月現在の卒業生数及び母校職員の異動を以下の通り報告致します。

- 一、同窓会員(名)
 - 二十一年三月 卒業により正会員 一五四
 - 四月 入学により準会員 一五四
- 正会員数 一七、二七七
- 旧制 二、四八九
- 高校 一四、七八八
- 内 男子 一〇〇、三三七
- 二十年度 七十九
- 女子 四、四六一
- 二十年度 七五



(行政)	(事務長)	(農 業)	(家庭)	(英語)	(保体)	(社会)	(国語)	(教頭)	〔転入〕	(行政)	(農 業)	(校長)	〔退職〕	(事務長)	(農 業)	(英語)	(保体)	(社会)	(国語)	(教頭)	〔転出〕	二、職員の変動						
林	鎌倉	高橋	齋藤	高坂	矢澤	横前	中井	山本	松島	佐藤	木下	吉川	遠山	西元	鈴木	上沼	山路	木船	稲村	榛葉	今村	小川	杉本	伊藤	及川	田中	横川	秀明
毅	秋子	深雪	清昭	繁富	洋孝	元	京子	千鶴	晃	元勇	浩子	博英	善治	敏明	三樹	衛	文夫	隆弘	玲士	亨	重翁	典子	秀男	彰朗	崇	宏		

平成20年度 決 算 書

- 1 歳入総額 2,461,729円
- 2 歳出総額 1,621,001円
- 3 差引残額 840,728円

平成21年5月30日 提 案
 平成21年5月30日 承 認

1 歳入の部

(単位：円)

科 目	予 算			収 入 済 額	比 較 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正	計			
入 会 金	1,584,000	0	1,584,000	1,584,000	0	8000×198名
雑 収 入 (利 子)	180	0	180	305,282	305,102	定期繰入、利息
繰 越 金	264,447	0	264,447	264,447	0	
終 身 会 費	308,000	0	308,000	308,000	0	2000×154名
合 計	2,156,627	0	2,156,627	2,461,729	305,102	

2 歳出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額			支 出 済 額	比 較 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正・流 用 額	計			
1 事務費	430,000	0	430,000	235,246	194,754	
(1) 旅 費	135,000		135,000	113,005	21,995	支会総会等の旅費
(2) 事 務 費	60,000		60,000	19,645	40,355	手数料・プリンター・インク他
(3) 通 信 費	20,000		20,000	16,340	3,660	郵送料・電話代
(4) 消 耗 品 費	35,000		35,000	19,656	15,344	印刷用紙他
(5) 負 担 金	30,000		30,000	24,000	6,000	地区同窓会負担金
(6) 正 副 会 長 交 際 費	150,000		150,000	42,600	107,400	各種会議参加費等
2 会議費	240,000	0	240,000	228,116	11,884	
(1) 役 員 会 費	30,000		30,000	14,490	15,510	監査会等
(2) 代 議 員 会 費	150,000		150,000	165,626	▲15,626	代議員会
(3) 幹 事 会 費	60,000		60,000	48,000	12,000	校内幹事会会議費
3 事業費	1,260,000	0	1,260,000	1,086,935	173,065	
(1) 稲 穂 会 費	120,000		120,000	126,675	▲6,675	活動費・総会費
(2) 事 業 推 進 費	370,000		370,000	282,550	87,450	支会総会の参加
(3) 稲 丘 時 報 発 行 費	250,000		250,000	241,500	8,500	稲丘時報発行費
(4) 同 窓 会 林 管 理 費	10,000		10,000	7,250	2,750	同窓会林間伐等管理
(5) 新 正 会 員 歓 迎 費	150,000		150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
(6) 稲 丘 会 事 業 寄 付 金	200,000		200,000	200,000	0	(財) 稲丘会
(7) 親 善 大 会 費	100,000		100,000	78,960	21,040	親善ゴルフ
(8) 研 究 費	60,000		60,000	0	60,000	母校の将来を考える会
4 雑支出	170,000	0	170,000	70,704	99,296	
(1) 慶 弔 費	120,000		120,000	17,704	102,296	祝儀・香典・弔電
(2) 転退職職員記念品費	50,000		50,000	53,000	▲3,000	餞別
(3) 雑 費			0		0	
5 予備費	56,627	0	56,627	0	56,627	
(1) 予 備 費	56,627		56,627	0	56,627	
合 計	2,156,627	0	2,156,627	1,621,001	535,626	

同窓生の活躍・

活動報告

平成二十一年春の叙勲 旭日双光章を受章して

熊谷 富夫(高7回卒)



同窓生の皆様方には益々御健勝でご活躍の事とお慶び申し上げます。

この度平成二十一年春の叙勲に際しまして不肖私しが、旭日双光章を拝受いたしました。これも偏に永年に亘りそれぞれのお立場で、ご指導下さった先輩各位をはじめ多くの同窓生の皆様の暖かい御支援とご協力の賜とあらためて厚く感謝申し上げます。

さて私は下農高校第七回の卒業生であります。卒業と同時に家業の農業に従事し、専業農家として五十余年頑張ってきました。最初は水稲と養蚕に酪農を取り入れた零細な多角経営でありましたが、昭和三十年頃から果樹を中心とする経営に移行して今日に至っております。その間肉用牛の飼育も二十頭規模でしたが、議会に出るまで一部門

として取り組みました。平成二年には飯田市農業賞、受章の栄に浴する事も出来ました。私が社会人として大人の仲間入りをさせて頂いたころは、青年団運動が大変活発な時代でありました。封建遺制とのたゞかいを通じて、住みよく明るい地域づくりに目ざめた私は青年団運動に没頭し、世直しの先頭に立つ事に生き甲斐を感じた時代でした。昭和三十六年、36歳の年に飯田市連合青年団の団長を務めました。

青年団や消防団又生産団体等の取り組みの中から、飯田市を少しでも良くするためのお手伝いが出来たらとの思いが、市議会議員としてお世話になるきっかけになったと思っております。市議会では、地域の皆様はもとより、同窓生皆様の絶大なご支援を頂いて、四期十六年間健康で務めさせて頂きました。その間四期目には市議会議長、広域連合議会議長等、歴任させて頂きました。

この度の受章もおよそ五十年地域自治に携わった事に対する評価かもしれませんが、お支え頂いた多くの皆様と共に頂いた、大変重い賞とあらためて受章の重さをおかみしめております。今後はこの受章を終生の名誉とし健康に留意、地方自治発展のため稲丘精神を忘れる事なく微力ではございますが、

ラグビー創部六十周年を迎えて

稲丘ラグビークラブ(下農ラグビー班OB会)
会長 中平 勝(高12回卒)

昭和二十五年ラグビー班が創立され本年六十周年を迎えることができました。これも偏に同窓生はじめとする地域の皆様を支えられ今日に至ったもので心より感謝と敬意を申し上げます。稲丘ラグビーで巣立ったOBは六百人余となりそれぞれ地域社会において活躍しております。これまで昭和三十九年度第四十四回全国高等学校ラグビーフットボール大会に初出場し以来全国大会七回、全国選抜大会一回、国民体育大会単独一回と中でも昭和四十三年第四十八回全国大会においてはベスト八と下伊那農が全国に知られた大会で輝かしい伝統が築かれました。さて、六十周年記念事業では関係各位には寄付金を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。お蔭様で九月十三日記念式典、招待試合を盛大に開催することができました。招待試合には強豪、三重県立四日市農芸高校(三年連続、十五回花園出場)を迎えて行いました。試合は38対29で勝利し秋の花園予選に大きな弾みとなる試合ができ二十六年ぶり花園が見えてまいりました。記念式典では歴代監督、斎藤校長らのご来賓をお迎えし、会長式辞、前監督ら三名、前OB会長に感謝状の贈呈、現役チームにジャジーの寄贈を行いました。祝賀会では創立時のOBからは稲丘グラウンドでの汗と土まみれの懐かしいラグビー談義で盛り上がりました。六十周年を機に一層の精進を図る所存でございますので今後ともご支援いただけましたら幸いです。



祝賀会にて部歌の斉唱



三重県立四日市農芸高校ラグビー部OBとの招待試合

稲穂会活動

意識の高揚を目ざして…

稲穂会会長 熊谷正子(高19回卒)



楽しみに張り切っていた方もおりました。みごと優勝カップを手にした方、苦しんで一回りして来た方等さまざまですが、全員にお土産をいただき、和気あいあいと楽しめた事は、何よりの事だと思いま

下農創立九十周年記念式典が執り行なわれます。十月になりますが稲穂会でもマレットゴルフ大会を、記念行事に相応しく盛大に行ないたいと計画しております。今から意識していただき振っての御参加をお願い致します。又式典では、「ハンドベル」の演奏を行う為に準備に取りかかっております。今や生徒の皆さんが女性の多い時代となりました。稲穂会(女性部)がこの様な行事を通じて、意識を高め、絆を深め合うことが、活潑な活動へとつながることと信じております。

会員皆様の率直なご意見を、ご感想を賜り、稲穂が活潑になります様、ご協力をお願い致します。

自然豊かな高台にある松川青年の家のゴルフ場を会場に、今年も第四回マレットゴルフ大会を、六月二十日に盛大に行うことができました。晴天に恵まれ、久しぶりに合ったクラスメイと爆笑しながら楽しんでる姿も見受けられました。又同窓会副会長さんより提供していただいた「サバ寿司」を賞品として「もらいたいなあー」と話題にして

した。稲穂会(女性部)の恒例行事としてこれからも続けて行きたいと思っておりますので、この新聞を目にした方は、来年はクラスメイを誘いあつて是非参加して下さい。来年と言えば、

平成21年度 稲穂会マレットゴルフ成績

優勝	坂巻 京子	高14回
準優勝	勝野 芳美	高14回
3位	中山多美子	高18回
4位	宮澤 千文	高21回
5位	林 宣子	高14回
6位	島岡 憲子	高18回
7位	清水 静子	高14回
8位	熊谷 正子	高19回
9位	熊谷 茂子	高21回
10位	下平 悦子	高19回

支会活動

伊賀良支会報告

事務局 今牧弘(高28回卒)

平成二十一年五月の同窓会代議員会に於いて、伊賀良支会活動に対し表彰状を頂きました。これまで支会の活動にご尽力頂いた諸先輩方、又ご協力頂いている役員、支会員の皆様に深く感謝申し上げます。

伊賀良支会では、正副支会長と会計を支会役員の中心として各地区に正副支部長、連絡班長を置き年一回

役員会、支部長会、総会を開催しています。春先に開催される総会の日程を支部長会で決定し、連絡班長を通じて総会通知と稲丘時報を会員名簿の確認をしながら支会員に配布しています。新たに伊賀良へ転居された方、結婚して伊賀良へ来た方等を考えますと会員名簿もまだまだ未 completion ではありますが、先輩役員のご努



平成21年5月30日 代議員会にて支会表彰

力で充実してまいりました。総会では、母校下農の学長、構内幹事支会担当の先生のご臨席を頂き、祝辞と母校の現況や校友会、クラブ活動について報告して頂いています。時の流れと共に学科は大きく変わっておりますが「少年よ大志を抱け」のこの言葉は今も受け継がれ、在校生がそれぞれの場で活躍している報告を聞き、卒業生の一員として大変うれしく思うところであります。又支会員である古田県議も出席頂き県政の情勢報告、県下高校の現況等を話して頂いています。

議事では年度の事業及び会計の報告と承認、二年任期での役員改選等を行い、終了後は支会員の親睦を図るよう懇親会を行います。八百名余の会員を数える伊賀良支会としてはまだまだ出席者が少ない総会ではあります。が毎年盛会に開催されております。今後大勢の方のご参加を期待しております。

下農同窓会親善ゴルフ大会においても支会幹事にご苦勞頂き毎年多数参加しています。本年度は支会対抗の部で優勝、個人の部でも伊賀良支会員が優勝し好成績を残しています。

終りに下農在校生、同窓会員の皆様のご活躍と下伊那農業高校の益々の発展を御祈念申し上げます。

第十八回親善ゴルフ大会

第十八回大会事務局長

平

功(高19回卒)

第十八回下農同窓会親善ゴルフコンペが、去る六月二十四日の上々のコンディションの中、昨年を上回る二一四名の参加をいただき、盛大に開催されました。二百名余のコンペは、飯田下伊那はもとより、上伊那地方を含めても数えるほどしかない大きなコンペと聞いております。我が、下伊那農業高等学校の同窓生皆様方の深いご理解と深い絆を、改めて感じる次第でございます。私事ではございますが、昨年の第十七回コンペの表彰式の席で事務局長を任命されて以来、大きなプレッシャーを感じておりましたが、前回を上回る参加人数とのことで何とか責任を果たせたのかなとホッとしております。これも、三月より準備を始め、要項の作成、参加募集、協賛スポンサー募集、チャリティ活動等、何回も御協議いただいた本部役員、各地区役員の皆

様、学校の先生方には、大変なご努力をいただいた賜物と感謝いたすところでございます。さて、来年は、下農創立九十周年ということで学校にも全面的にご協力いただいた記念コンペ、そして、再来年は大きな節目となる二十回記念コンペとなり、それぞれにふさわしい企画になるかと思えます。同窓生の人数から見ると、まだまだゴルフ人口は多いはずですが、特に若い人たちが少ないように思います。厳しい世の中ではございます

が、成績は二の次、同窓会ならではの楽しい雰囲気味わいに来ていただくよう、気楽に今回以上のご参加をお願いしたいと思います。最後に、母校の永遠の発展と、同窓会の更なる活動の盛り上がりをお願いいたします。ましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

最後、母校の永遠の発展と、同窓会の更なる活動の盛り上がりをお願いいたします。ましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

下農同窓会ゴルフ大会成績

個人の部				
優勝	松澤武司	高15回	伊賀良支会	
準優勝	木下義明	高34回	市田支会	
3位	荒川善隆	高44回	大島支会	
4位	日置博雅	高37回	上郷支会	
5位	塩沢文司	高18回	上久堅支会	
6位	早川雅	高31回	松尾支会	
7位	蜂谷紘誠	高13回	山吹支会	
8位	寺沢信直	高17回	山吹支会	
9位	矢野信直	高27回	伊賀良支会	
10位	岡庭直	高30回	山本支会	
レディースの部				
優勝	平松富美子	高12回	上郷支会	
支会対抗の部				
優勝	伊賀良支会			
準優勝	上・下久堅支会			
3位	上郷支会			
4位	大島・生田支会			
5位	竜丘支会			

親善ゴルフ大会

実行委員長 退任挨拶

実行委員長 勝 又 仁 志 (高13回卒)



前回までの壬生一昭委員長(十一回卒、豊丘)の後を引き継ぎ、第十六回大会より第十八回大会まで実行委員長を務めさせていただきました。

第十六回大会は、飯田CC、第十七回は、あららぎCC、第十八回大会は、高森CC、と飯田、下伊那地

域三カ所を実施し、三会場共、参加人数は、ほぼ二百名位で、いずれの会場共、貸し切り状態でした。いずれも実施日は、六月下旬の梅雨の時期でしたが、プレーを中断する程の雨には見舞われる事もなく、予定どおりの日程で実施する事ができました。このことが何よりものことで、参加者の日頃の行いのせい、かと感謝するところであります。

競技の内容については、ここ数年同様で特段の変化は有りませんが、個人順位

の他に、レディース部門の個人順位、又、支会対抗戦有り、と、より多くの参加者に、賞品等がいきわたるような工夫もされています。又、恒例となりましたが、チャリティホールを設けてのチャリティ金の捻出も、毎回二十万円位となり、学校へ贈呈していますが、必ずや大いに役だっていることと思えます。

同窓会から幹部の方、学校からは、校長先生をはじめ同窓会関係の先生のご出席をいただき、盛会にできました。お忙しいところご来臨賜り、ご光彩を添えていただき、感謝にたえないところであります。

このように、多くの同窓生が、一つのゴルフ場を貸し切り、ゴルフに興じ、そして語り合う。余り例の無いことでしょうか、素晴らしいことだと思います。是非続けてもらいたいものだと思います。

終わりに、在任期間中、多くの関係者にご指導、ご支援をいただきましたことに感謝を申し上げ、新実行委員長の下、当会が、益々発展されますことを祈念申し上げます。退任の挨拶といたします。



個人優勝 松澤武司さん (向かって右側)



支会優勝 伊賀良支会

下農は今 (在校生の活躍)

全国一位

農ク全国大会(佐賀大会)

農業鑑定競技 農業部門 最優秀賞受賞

平成二十一年三月 アグリサービスク卒業

窪 田 政 行 (高61回卒)



私は、昨年の十月に佐賀県で行われた農業高校の全国大会に出場し、農業鑑定競技区分農業で最優秀賞(全国一位)をとらせて頂きました。

農業鑑定とは、農業の知識や技能を競う競技です。選択問題や記述問題、計算問題が四十問出題され、選択と記述は二十秒、計算は四十秒で答えなければいけません。昨年は、「この被害部位は、どの害虫が加害したものですか」や「このエンジンの排気量を答えなさい」などの問題が出題されました。



この全国大会には、毎年下農から五人の生徒が出場します。出場するためには学科問題で一位にならなければいけません(アグリサービスクは二人)。全国大会の出場者が決定すると、それぞれ大会に向けての学習を始めます。私は、農業の先生の所へ行って質問したり、農場を歩き回って実物を見たり、教科書や図書館へ行って参考書を読んだり、インターネットで調べたりして勉強しました。大会の一ヶ月前くらいになると、過去問に挑戦しました。この頃になると、放課後五人揃って勉強することも多くなり、お互いに励まし合いながら行いました。また、勉強時間の量などを競争したりしていたので、それが良い結果につながったのかなと思います。そうやっていくうちに、あつと言う間に大会前日に

なりました。

大会前日に、私たちは佐賀県へ出発しました。移動のバスや新幹線の中では、勉強ファイルを見て確認したり、寝たりしていました。宿に着いてからは、大会のことが不安になってきたので、ずっと勉強していました。結局、寝ませんでした。

大会当日は、徹夜していたので体がフラフラしていましたが、今までやってきたことを全力で出し切りました。競技中は、一問一問何度も確認しながら解答を書きました。競技終了後は解答

二度目の国体出場

平成二十年入学 園芸クリエイト科

二年 小林 将 樹

九月三十日、新潟県上越市にて第六十四回国民体育大会「トキメキ新潟国体」体操競技大会が行われました。長野県代表として、高校三年生が二人、高校一年一人、中学校三年一人の四人のメンバーで出場させていただけました。

僕は、二年前の第六十二回秋田わか杉国体にも出場し、今大会で国体は二度目となりました。わか杉国体の時はまだ中学生で、しかも初めての全国大会だったので不安と緊張でもあまり力を出しきることはできず、全国大会のレベルの高さにも驚いてばかりでした。この時から、全国でも通用する選手になりたいと思いはじめました。

に自信がなく、最優秀賞は絶望的だと考えていました。

翌日、結果発表がありました。「最優秀賞、長野県下伊那農業高校、窪田政行さん」と聞いた直後は、とても信じられない気持ちでした。後から、「今まで頑張ってきたで良かった」という気持ちが入り込んできました。

私は、いつも励ましてくれた先生方や家族、友達がいたからこそ最優秀賞をとれたのだと思います。この経験をこれからの人生に生かしていきたいです。

それから二年間、わか杉国体の時の反省をいかし日々努力しました。毎日の努力や応援していただいた方々のおかげで今年も国体に出場することができました。今大会の目標として、「わか杉国体の時より良い結果が出せるよう、チームに貢献できるような演技をしたい。」という気持ちで大会に臨みました。

わか杉国体の時は、鞍馬、吊り輪、跳馬、平行棒の四種目を演技しました。今年は、床、鞍馬、吊り輪、跳馬、平行棒、鉄棒の六種目全てに出場しました。大会最初の種目は吊り輪からでした。いつも以上の演技ができて着地も止まり、僕だけでなくチームの皆でもだしから好調でした。

その後もミスすることもなく演技できましたが、最終種目の鞍馬だけは落下してしまいました。しかし、全体的にはいつも以上に良い演技をすることができ、自分の中では満足のいくのでした。

わか杉国体の時は、四十県中三十九位でしたが、今回は四十七県中三十八位と前回大会よりは良い結果でした。二年前よりもかなり成長することができ、毎日頑張ってきたかいがあつたとうれしく思いました。しかし、前回より結果が良くなったといっても順位はまだまだ下の方です。一位をとるつもりで今以上に努力していきたいと思えます。

来年はインターハイ、国体出場を目標とし、高校三年間に悔いが残らないよう精一杯頑張りたいと思います。最後になりますが、応援してくださった方々、ありがとうございました。



国体に参加してみて

平成十九年入学 アグリサービスク

三年 宮 島 征 次

先日、新潟県で開催された新潟ときめき国体に私達七人は、ラグビーフットボール競技少年の部、長野県代表として参加しました。

私達長野県代表は、飯田高校、下農岡谷工業高校などを中心としたチームで、小・中学校のときは同じスクールで一緒にラグビーをやっていた人や同じ中学校だった人が多くいたためコミュニケーションもとりにやすくチームとして良い雰囲気でした。

北信越予選では、石川県、福井県を下し、少年の部の長野県勢としては四年ぶりの本国体出場が決まりました。

新潟国体は九月二十六日から十月六日までそれぞれの市でいろいろな競技が行われました。私達が行った新潟市ではラグビーとサッカー、セーリングの競技が行われていました。新潟市は有名な温泉街であり、国体の関係者だけでなく観光客の人も多くいました。

練習では開催県である新潟県のチームと合同練習をし、お互いの調製として確認するところを確認して練習は終わりとなりました。その他の時間は基本的に自由で勉強などのために使ったりしました。

午前中から曇っていました。また風も強く試合への影響が心配されました。会場に行くつと福岡、岩手、新潟、大阪、山口、埼玉、京都、北海道、愛知、千葉、宮城、愛媛、神奈川、長崎がいて長野を合わせて総勢十五チームが集まりました。私たちの相手は埼玉県で体が大きく、また留学生もいる関東ブロックを勝ち抜いてきた力のある相手でした。十二時半、キックオフで一時間前からアップをし、試合に臨みました。



本国体 一回戦 対 埼玉県

試合の序盤は埼玉県のペースにはまり、先制トライをきめられてしまいました。しかし、長野県も一トライ返し前半を七対五で折り返しました。後半になると雨が降り始め、風が止み、あまり敵陣に入れず苦しい戦いになりました。それでも後半残り十分

までは決死のディフェンスで相手の得点をペナルティゴールの三点に抑えていました。しかし、残り十分で一本とられてからたて続けに攻められ、最終スコアとしては二十七対五で負けました。もう少しで勝てただけに悔いが残る結果となりました。今回最終的に負けはしてしまいましたが、長野県代表として新潟国体に参加できて全国のレベルを身をもって知ることができて良かったと思います。最後に今回応援してくださった学校の皆さんや保護者の皆さま、国体の関係者の方々、ありがとうございました。



浜松モザイクカルチャー世界博2009 園芸クリエイト科3年 草花専攻生の作品(出展：飯田市・南信州広域連合)

会員の訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

(敬称略)

- 宮脇権右衛門(旧十二回) 市田 鼎
- 木下 健(旧十六回) 鼎
- 棚田 清四(旧十七回農蚕科) 座光寺
- 島岡 勝義(旧十八回農蚕科) 山本
- 石原 勝(旧十八回農蚕科) 根羽
- 矢沢 盛雄(旧二十回農蚕科) 伊賀良
- 宮沢 誠(旧二十二回農蚕科) 喬木
- 加山 千振(旧二十三回) 上郷
- 小林 昭治(旧二十四回) 阿智
- 松下 登(旧二十四回) 三山吹
- 松村 利治(旧二十五回) 河野
- 富田 隆仁(旧二十六回) 市田
- 高野 信之(旧三回) 山吹
- 原田 幸郎(旧四回) 座光寺
- 宮下 昌和(旧六回) 伊賀良
- 遠山 善登(旧七回) 三穂
- 久保田芳治(旧七回) 三穂
- 遠山善次郎(旧八回) 遠山
- 鈴木 達男(旧八回) 鼎
- 長沼 宗男(旧九回) 上久堅
- 椎名 宏(旧十一回) 伊賀良
- 中村 輝文(旧十一回) 川路
- 後沢 秋弘(旧十三回) 市田
- 原 輝男(旧十四回) 喬木
- 金井 信樹(旧十八回) 大島
- 松田 重徳(旧十九回) 市田
- 久保田英和(旧十九回) 三穂
- 久保田昭二(旧二十三回) 伊賀良
- 木村 健治(旧二十三回) 市田
- 城田 好光(旧二十三回) 大下条
- 矢沢 朝保(旧二十六回) 伊賀良
- 吉村 昌彦(旧二十八回) 下久堅
- 大島 愛子(旧二十八回) 大島

平成20年度(21年3月卒業)の進路状況

卒業生数		人数	比率	計	合計	アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学
男子	女子								
79人	75人			154	40	36	40	38	
合計	154人			79	12	36	22	9	
				75	28	0	18	29	
就職者 男子 25 女子 24 小計 49 比率 31.8%		管内	42	27.30%	20	1	14	5	9
		管内	2	1.30%	1		1		1
		県外	5	3.20%	4		3	1	
		公務員	0	0.00%	1			1	
		自営	0	0.00%					
進学者 男子 54 女子 49 小計 103 比率66.9%		四大	17	11.00%	13	3	2	6	2
		短大	29	18.80%	4	2			2
		県農大等	4	2.60%	9	4	3	1	1
		専修学校等	53	34.40%	20	9		4	7
					4	2		2	
未定		2	1.30%	28	2	13	7	6	
比率1.3%				25	10		6	9	
				2			1	1	

進路状況

平成20年度(平成21年3月卒業)卒業生の進路状況

進路指導部長 大平 泰 嗣

昨年度本校卒業生の進路状況は、就職、四大十短大専門学校進学が概ね三分の一ずつを占め、ここ数年来同様の傾向でした。

幸い就職内定者に対する取り消しの事例はなかったものの、一昨年以前であれば雪がちらつき季節に至っても飯田下伊那管

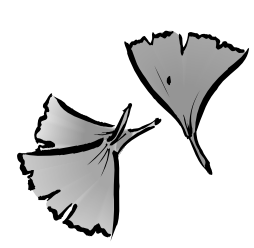
内企業から求人票が本校へ断続的に届いていたものですが、昨年は九月下旬を境にその動きがぱったり途絶えてしまいました。更に今年の場合、地元企業から本校への求人票は八月以降三枚に止まっています。世界同時不況の嵐を日々実感しているところです。

就職を希望する生徒のほとんどは七月(企業からの求人受付開始から八月上旬にかけて志望企業を決定し、本校の場合その大半は地元企業です。ちなみに本校が地元企業から頂いた求人票の七月末時点での枚数とその年度の総数の過去三年間にわたる推移は次のようになります。(平成十九年度(81、152)、二十年度(100、114)、二十一年度(48、51)現三年生も新たな状況に敏感に反応し、九月末時点の就職希望者は三十一名にとどまっています。しかしながら個々の企業の求人数も絞り込まれているので、果たして希望者全員が内定に至ることができるか否か、懸念されるところです。

反面、進学を目指す生徒が増えているわ

今年も無事「第七十四号稲丘時報」を発行する運びとなりました。これも偏に、吉澤同窓会長を始め寄稿に快くご協力いただきました。同窓会、準会員の皆さまのお陰と感謝いたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。有難うございました。

進学 4年制大学 信州2(農)、愛知学院3(経営・心理・心身科学)、東京農業3(農2・生物生産1)、愛知学院2(家政)、愛知東邦(経営)、城西(経営情報)、中部(国際関係)、帝京科学(生命環境)、東海学園(人間健康学)、花園(文)、四日市(環境情報)、岐阜経済(経営)	福祉) 専門学校等 長野県農業大学校(4)、看護・医療・整備(10)、製菓・調理(9)、ホテル・ファッション(6)、法律・公務員(5)、音楽・デザイン・アート(5)、理・美容(4)、自動車整備(4)、コンピューター(4)、スポーツトレーナー(2)、その他(4)	OA匠の里、コーケン香料伊那工場、小林製袋産業、信濃雪、ジョイフル・テン、照クリエイト、トーエネック、東海興業、夏目光学、日星工業飯田工場、ハートケアアイダ、林製菓、ひとつぶの麦、ひるがみ温泉石苔亭いしだ、ふくしま、マロン、三菱電機中津川製作所飯田工場、明星学園、横浜ゴム長野工場、ルビコン電子
短期大学 長野県(生活)、飯田女子12(幼教5・家政4・看護3)、高山3(自動車工)、松商2(商・情報)、愛知学院2(食物栄養)、中京2(保育)、大妻女子(家政)、信州豊南(幼教)、京都外語(英語)、近畿(商経)、東京農業(生物生産)、目白(製菓)、酪農学園(酪農)、中部学院(社会	就職 管内 オムロン飯田(3)、飯田青果(2)、エヌティーツール飯田工場(2)、乾光精機製作所(2)、コボックス(2)、信菱電機(2)、マルヒ(2)、みなみ信州農業協同組合(2)、エヌ・イー、NSKマイクロプレジジョン、お菓子のシアワセド、かぶちゃん農園、グラビアジャパン、K	県内 中川・下平歯科医院、日本通運長野支店 県外 APOLLON、新日本製鐵名古屋製鐵所、東海旅客鉄道、トヨタテクニカルディベロプメント、郵政事業信越支社



稲丘時報係

編集後記

また、今号は下伊那農業高等学校創立九十周年記念事業の詳細を会員の皆様にお伝えできる最後の機会ということで、記念事業について大きく紙面を割く予定でしたが、第四回実行委員会の延期等によって未決定部分も多く、お伝えできる内容が少なくなってしまうことをお詫び申し上げます。